●授業を終えて、「平和」とは、どういうことだと思いますか。今日の授業で学んだこと、気づいたこと、感じたことを書いてみよう。

【1年生】

- 平和は、戦争がなければ平和ではなく、全員が安心、安全に過ごせるのが平和だと思います。リアルな写真やお話を聴いて、今の生活のありがたさを感じました。
- 平和とは、人々がみんな平等に差別がなく、餓死する人がいない、誰もが思い描いた理想の世界が平和だと思う。平和の反対は戦争で、戦争がなくなれば平和になると思っていたけど、戦争がなくなっても本当の平和じゃなくて、構造的暴力があるままの状態、めざすべき平和は積極的平和だと思った。
- 日本では当たり前前三食食べて、水道をひねると水が出てくるけど、世界にはそうでない国がたくさんあることを知った。
- 平和というのは、誰かが苦しい思いをせずに、平等で差別がなく、一人ひとりが普通に生活できること。人間以外の生き物も含めて。
- 誰かにまかせたりするんじゃなくて、募金や他の人に伝えるなど、自分から積極的に平和にしていこうことが大事だと思った。
- 平和とは、誰もが幸せだと思えることだと思います。今日見た平和に見える写真の裏には、気づかないような事実が隠されていて、世界の1割くらいの方は貧困などに悩まされていること、それをなくすために、今できることを考えることが必要だと思いました。
- みんなができるだけ平等に、安心できる生活に近づけられるといいと思った。でも、人によって価値観が違うから、平和でなくなってしまうのがとても難しいことだとも思った。
- 平和とは、誰も人を傷つけたり、傷つけられたりしないこと。今、自由にご飯を食べられている中、世界ではご飯が食べられなくて亡くなる小さな子どもの写真を見て、苦しくなった。
- 先生が最後に言っていたけれど、「愛情の反対は無関心」という言葉を知って、まずは自分が興味や関心を持つことが大切だと知りました。

【2年生】

- 平和は一人が思うだけではだめで、みんなが平和だと思うことが大事だと思った。私が平和だと思っても、世界中を見ると危険な状態の人もある。平和をつくろうと思うときは、視野を広くすることが大切だと思った。
- 平和とは、世界中に人々が安心、安全で幸せに暮らしていることだと思った。
- 平和とは、世界のみんなが環境にやさしくすること。例えば、海にプラスチックごみを捨てないことや、ウクライナの戦争をやめること。私は環境問題に少しでも協力したい。
- 戦争がないことだけが平和ではない。今も飢餓や児童労働を受けている子どもたちがいる。その子どもたちが救われることこそが、平和だと思う。
- 私は、いろんな人がいて、一人ひとり違う考えを持っているから完璧な平和は無理だと思っています。けれど、自分の考えをみんなが積極的に伝えたりすることで、少しずつ平和に近づけるということが今日のお話からわかりました。平和に限らず、みんなが行動することでよりよい世界になると思うので、私はこれから今まで以上に行動しようと思います。

【2年生】

- 戦争がなくなれば平和になるのではなく。地球上にいる人間はもちろん、動物や虫、魚などの生き物が安心、安全に過ごすことができれば、平和だと私は思います。今日の授業を受けて、これから「はたしてこれは平和なのだろうか」と考えてしまうことが多くなると思います。今日の授業を活かして、たくさん考えて、積極的に何かできることをしていこうと思いました。
- 誰もが安心、安全じゃないとだめだと思いました。どこかの国だけが安心じゃだめだし、みんなが平和に幸せにすごせるように、何か自分にできることを考えようと思いました。
- 「積極的平和」は、自分たちが積極的に関わりについてつくらないといけない。戦争がなくなったら平和、ということでは決してない。社会的弱者の姿に関心を持つことが大切だと思いました。
- 今回の学習を通して、日本はまだ平和な方だけど、ウクライナとロシアのように戦争が起こっている国でなくても平和じゃない国もあるんだなと、再認識できた。

【3年生】

- 「戦争⇔平和」の矢印には、隠された危険がいっぱいある。大人のせいで働かされている子どもが世界にはいる。人の良心を狙って、子どもにお金を稼がせる汚い大人がいる。
- 平和とは、戦争がない状態だけでなく、構造的暴力がないということ。今日の話聞いて、「戦争の反対語は平和」ということではないと感じた。児童労働など、助けたいと口で言うのは簡単だけど、なかなか行動には移せない。広めたところで誰かがやってくれるという気持ちになってしまう。解決のために、できることはあるのかな。
- 人まかせに平和を願うだけじゃなくて、積極的に行動できる人になろうと思った。
- 自分の生涯はずっと平和でも、他の人の人生が平和で幸せだということはないし、貧困、戦争、差別などが存在している限り、世界中の人が協力しない限り、本当の平和はこないと思います。
- 平和とは、人間や動物など、すべての生き物が平等に生きられる社会。2つの平和の間にあるたくさん問題は、解決するのが本当に難しい。プラスチック汚染の問題は、自分も協力できる問題だと思った。グループの中で、1つの写真に対してポジティブな感想とネガティブな感想の両方が出てきて、人によって受け取るイメージには違いがあるんだなと思った。今回の授業を受けられて得をしたと思う。
- 今日の平和についての学習を通して、戦争がないからといって必ずしも平和であるとは言えないということに気がきました。これからも、今回学んだことを活かし、より深い考えを持てるようになりたいです。
- 平和は、人々が安心、安全に生活できる環境のことだと思った。戦争がないからといって、平和に直結するのではないと知り、平和の本質をよく見て考えていこうと思った。平和の他にもこのような本質が隠れた言葉がたくさんあると思うから、しっかり見極めて対応し、それぞれの意見を発信、交流していこうと思う。
- 当たり前毎日暮らしていて、平和だなと自分が思っているけど、地球上のどこかには困っている人がいることがわかりました。
- 平和とは、誰も不満を持たない世界だと思っています。平和になるのを人まかせに願うのではなく、「愛情⇔無関心」のように何かに関心を向け、自分から行動することが大切だと学びました。